

# JA ほこた

## 1. 基本的事項

### (1) 概要（令和4年7月31日現在）

- ①名 称 ・ ほこた農業協同組合
- ②所 在 地 ・ 茨城県鉾田市安房1654番地3
- ③設立年月日 ・ 平成9年2月3日
- ④地 区 ・ 鉾田市（旧鉾田町・旧大洋村）
- ⑤組 合 員 数 ・ 正組合員 2,798名  
・ 准組合員 955名
- ⑥役 員 数 ・ 31名（理事 26名・監事 5名）
- ⑦職 員 数 ・ 112名（男性 74名・女性 38名）

### (2) 主な農畜産物

- 【 米 】 コシヒカリ・ふくまる
- 【野 菜】 トマト・甘藷・長芋・人参・水菜・小松菜・ほうれん草
- 【果 実】 メロン・アールスメロン・苺
- 【花 卉】 トルコギキョウ・小菊

### 令和4年4月1日現在

- 【 銘 柄 産 地 】 ①メロン
- ②人参
- ③アールスメロン
- ④苺
- ⑤トマト
- ⑥ミニトマト
- ⑦パセリ
- ⑧小松菜
- ⑨水菜
- ⑩ほうれん草
- 【 銘 柄 推 進 産 地 】 ①甘藷

### (3) 子会社名と事業の内容

①子会社名：JAアグリサービスほこた(株)

(主な事業内容：食料品販売、農機具販売・修理、自動車販売・修理)

## 2. 歴代常勤役員（理事・監事）

### (1) 組合長

①平成22年4月～平成26年8月	三保谷 二郎
②平成26年9月～令和 4年4月	長 峰 茂 通
③令和 4年4月～	内 田 政 輝

### (2) 専務

①平成22年4月～平成27年4月	日向寺 和 男
②平成27年4月～平成28年1月	高 野 悦 男
③平成28年1月～平成28年4月	田 口 博 基
④平成28年4月～平成31年4月	小 堀 久 一
⑤平成31年4月～令和 4年4月	内 田 政 輝
⑥令和4年 4月～	新 堀 隆

### (3) 常務

①平成25年4月～平成28年4月	志 藤 誠
②平成28年4月～平成31年4月	皆 藤 俊 雄
③平成31年4月～	菅 谷 正

### (4) 常勤監事

①平成25年4月～平成28年4月	飛 田 啓 一
②平成28年4月～令和 4年4月	海老原 春 夫
③令和 4年4月～	桂 木 利 朗

## 3. 事業の推移（概況）

### (1) 地域農業振興の取り組み

#### 【青果物】

#### 1) 銚田市の概要

銚田市は、農林水産統計、令和2年度全国市町村別農業産出額で全国第4位、野菜部門では全国第1位の農業が盛んな市町村で、当組合はその一翼を担っています。

主な、特産物は日本一の産出額を誇るメロンを始め、トマト、いちご、人参や葉物野菜（小松菜・ほうれん草・水菜・パセリ等）が生産され、県の銘柄産地にも10品目が指定されている。

特に、平成28年度には、当地区で全国メロンサミットが開催された。



（アールスメロン）



（アンデスメロン）



（クインシーメロン）



ミニトマト（あまエル）



（イチゴ）



（小松菜）



（水菜）



（ほうれん草）



（パセリ）



（人参）

## 2) 販売高の推移

東日本大震災から2年が経った平成25年度には、直売所販売高を含めて「農産物販売高100億円を達成」し、さらに平成28年度には123億円を達成した。その後、コロナ禍の影響を受けながらも、平成29年度からは、ほぼ順調に販売高は推移し、直近の令和3年度には139億円まで増加した。

この間の特徴として、メロンから葉物への作物転換をした生産者が増え、小松菜を中心に年々葉物の出荷量が増加している。

さらに、コロナ禍の中、テイクアウト需要が増え、手軽さから焼き芋ブームなどもあり甘藷の作付け・出荷数量も増加している。

また、販路拡大の観点から、行政と一体となってメロンや苺を試験的に海外に輸出する取り組みも実施している。

### 3) 主な生産部会と最近の活動内容

<メロン部会> 部会員数 185名

- ・コロナ禍の中で、会議や生産者大会など会合を極力避け、消費宣伝活動を実施しました。

<園芸部会> 部会員数 502名

- ・出荷規格表の配付や、市場表敬訪問、栽培講習会、消費宣伝活動をを実施しました。

<イチゴ部会> 部会員数 72名

- ・「とちおとめ」「やよいひめ」「いばらキッス」の三品種を部会指定品目とし、栽培講習会、定期圃場巡回、目揃会などを実施し、規格・品質・防除に努めました。
- ・ほこまるGAPや全農あんしんシステム認証を取り入れ、安全・安心に努めています。

<根菜部会> 部会員数 234名

- ・人参、甘藷、長芋などの栽培講習会を開催し、病気の予防や栽培上の注意点を周知し、品質向上に努めています。

<トマト部会> 部会員数 207名

- ・生産者大会を開催し、各表彰等を行った。
- ・ミニトマトの試作を行うなどの研究活動も行っている。

### 4) 地区別の施設整備状況

平成29年度、鉾田地区の徳宿に「キュアリング貯蔵施設」を建設し、平成30年度には葉物出荷量増加に伴う「保冷库施設」を増設した。

また、大洋地区には、平成29年度に「真空予冷施設」を整備し、平成30年度には老朽化による「選荷ラインの更新」を行った。



(鉾田地区 キュアリング貯蔵施設)

令和2年度には、大洋地区の「人参洗浄施設の選別ラインの更新」を行った。



(大洋地区 真空予冷施設)



(銚田地区 保冷庫を整備)



(大洋地区 選荷ラインの更新)



(人参洗浄選別施設)

## (2) 自己改革の取り組み

平成27年度には農協法改正があり「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」の考えに基づき、将来の組織・事業のあり方について検討し、「農業分野・地域暮らし分野・組織経営分野」3つの分野に分け自己改革を進めることを決定した。

その結果、農業分野では、農業者の所得増大への貢献を目標に掲げ、組合員との協議を重ね生産力及び販売力強化に努めた結果、平成28年度は前年対比109%の123億円を超える販売高実績を上げることができた。

さらに、青果物のPRのためラッピング高速バスの運行や「イバラキング」メロンを使用した「メロングミ」「メロンゼリー」を菓子メーカーと共同開



(ラッピングバス)



(メロングミ・メロンゼリー)

発し、商品化を行った。また、新鉾田駅に「地元農産物PR看板」を設置した。

また、生産コスト低減の取り組みとして「アグリフラッシュ444」肥料の年間入荷計画書を作成発注し、大量入庫による安価な仕入れを実現した。

また、農薬大型規格品として水田除草剤の40キログラム入りの導入や、センチウ缶値上げによる生産コスト増加に対し、農協独自規格の畑作用殺虫剤「ダントツ粒剤10キログラム」の導入などコスト削減に貢献した。



(アグリフラッシュ444)



(ダントツ粒剤 10kg)



(新鉾田駅:農産物PR看板)

### (3) 地域貢献活動

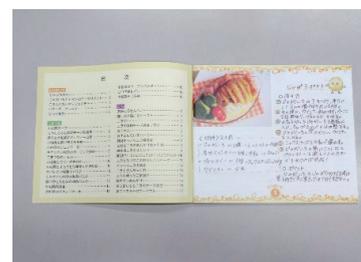
地域とくらしを豊かで元気にするための協同組合運動を再構築するため、地域に応じた「くらしの活動」をしっかりと実践することで、地域組合員・利用者との関係性を深めるため、本支店の美粧化運動や新型コロナウイルス感染予防のため消毒機や顔認証表面温度計を設置した。

また、地域の子供たちに「食」と「農」の大切さを伝えるための食農食育活動として、イチゴ狩り等の農業体験の他、市内の学校給食へ特産品であるアンデスメロンの提供をした。

さらに、地元高校生(鉾田二高)家庭科クラブと連携し地元野菜(水菜、小松菜、ニラ)を使用したレシピ集を2種類制作した。



(アイディアレシピ集①)



(アイディアレシピ集②)

地域との交流活動として、市主催のメロンサミットへの参加やフォークリフト「運転技能講習会」の実施、婚活バスツアーや少年サッカー大会も開催した。

令和元年度には監視カメラ付きソーシャルロックを設置し、地域の安全や防犯などの未然防止に寄与している。



(学校給食にメロンを提供)



(婚活バスツアー)



(フォークリフト運転技能講習会)



(監視カメラ付きソーシャルクロック)

#### (4) 組織・事業基盤の整備

ほこたブランドの発展及び知名度を上げるため、平成25年4月1日に「かしまなだ農業協同組合」から「ほこた農業協同組合」へ名称を変更し、新たなスタートを切った。

平成26年3月に本店を現在の場所（銚田市安房1654-3）に移転、同年5月には農機センターを徳宿へ移転した。令和元年8月に燃料事業（徳宿給油所）を全農茨城県本部が設立する新会社「JA茨城エネルギー株式会社」へ事業譲渡した。



(JAほこた新本店 外観)



(新本店テープカットの様子)

## (5) 自然災害の発生

度重なる台風被害など自然環境の変動により、生産・出荷体制に多大な影響を受けた。

特に令和元年9月の台風15号の作物被害は、トマトやアールスメロン・葉物などで、ビニールハウスの全壊、半壊、一部損壊など被覆資材の被害が管内の海岸方面で多く発生した。

家屋など、建物の一部損壊被害は管内100件以上に及びJA施設のシャッターや屋根などの損壊も確認された。JAの対応として、組合員向けの系統農業災害資金やJA独自の災害資金を創設し、低金利での貸出を設定し対応した。



(令和元年ハウス被害①)



(令和元年ハウス被害②)

## (6) JAほこた「ファーマーズマーケットなだろう」

地場産農産物や「なだろうオリジナルブランド」商品を開発し、各種イベントの開催や農業体験などを通して消費者との交流を深めている。

特に、メロンの注文受付販売の拡充に努めている。

なだろうでは、5月にメロン祭りや6月に周年祭、10月には収穫祭や1月には苺祭りを開催し、生産者と地域住民の交流を図るイベントを行っている。メロン祭りでは特価でメロン販売し、周年祭ではとうもろこし入りカレーの無料配布を行い、収穫祭では、お米すくい当てゲーム、苺祭りでは試食会などが行われている。



(メロン祭りの様子)



(周年祭の様子)



(収穫祭お米すくい重量当ての様子)



(苺祭り試食会の様子)



(あまエル トマトジュース)

#### 4. 事業成績並びに財産及び損益の状況

(単位：千円、%)

区 分	項 目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財務	事業利益	79,328	15,712	39,692	137,066	148,215	147,980	123,328	208,960	187,913
	経常利益	114,695	24,562	55,756	15,362	172,026	172,020	151,376	242,339	220,213
	当期剰余金	25,476	35,148	37,511	113,916	94,568	149,877	109,592	182,930	177,521
	総資産	32,899,955	32,966,202	34,003,515	35,859,296	40,417,194	40,861,119	41,156,208	41,342,748	43,477,241
	純資産	2,596,047	2,578,536	2,607,144	2,714,265	2,795,852	2,943,665	3,042,334	3,185,914	3,337,960
	単体自己資本比率	22.90%	22.16%	21.34%	21.75%	20.23%	20.81%	20.54%	21.30%	22.46%
信用事業	貯金	28,571,198	28,707,262	29,114,305	31,476,168	35,848,129	36,390,500	36,616,768	36,717,079	38,545,004
	預金	23,585,268	24,133,539	25,519,551	27,809,220	31,701,173	31,844,944	31,504,231	31,039,538	31,989,533
	貸出金	4,267,913	3,936,338	3,853,489	3,962,459	4,530,653	4,750,818	5,142,896	5,380,187	5,887,661
	有価証券	1,028,435	672,130	430,560	90,000	200,370	410,010	626,220	892,010	1,383,110
	うち国債	7,055	0	0	0	0	103,510	310,260	790,860	1,283,990
共済事業	長期共済保有高	117,293,753	113,608,491	110,316,258	107,554,847	103,736,817	99,533,985	96,390,742	93,596,554	89,576,284
	短期共済新契約掛金	264,843	279,160	296,177	297,939	309,552	300,148	302,162	298,540	297,553
購買事業	購買品供給高	2,351,000	2,414,095	2,283,159	2,395,141	2,516,838	2,616,374	2,480,074	2,523,670	2,564,271
販売事業	販売品販売高・取扱高	9,755,445	10,346,024	11,261,488	12,314,667	13,286,995	13,541,247	12,980,632	13,654,873	13,906,208
保管事業	取扱高	423	599	581	490	475	431	384	668	831
加工事業	取扱高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
利用事業	取扱高	147,930	149,588	120,187	152,690	132,995	156,178	135,084	114,116	137,377
宅地等供給事業	取扱高	—	—	—	—	—	—	—	—	—